

設備購入のための補助金を受けた場合でも J-クレジット制度に参加可能！

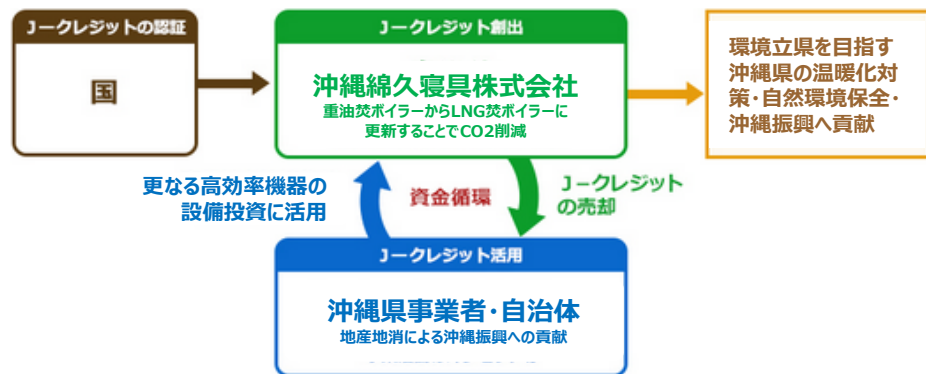


健康と快適の明日を考える
沖縄綿久寝具株式会社

沖縄綿久寝具株式会社

実施地域：沖縄県

■ 取組概要



A重油焚ボイラーを高効率のLNG 焚ボイラーへ更新することで約25%・年間約1,800 tのCO2 排出量を削減できます。J-クレジットは沖縄県内の事業でのカーボン・オフセットに利用することで、環境立県を目指す沖縄県の温暖化対策・自然環境保全に貢献するとともに、離島観光振興をはじめとした沖縄振興にも繋がると考えます。



沖縄綿久寝具株式会社 中城工場



更新したLNG焚ボイラー5基



弊社敷地内にあるLNGガスメーター

■ CO₂排出量削減見込量：1,790t-CO₂（2017年度）

■ 制度参加のきっかけ・効果

重油焚ボイラーからLNG焚ボイラーへの更新で
約1,800 tのCO2を削減し、環境貢献をPR！

弊社はリネンサプライ（リネン製品を回収しクリーニング、再びお客様にお届けするサービス）事業を沖縄県内で展開し、病院・ホテル等が主な顧客であります。クリーニングの際、洗濯水の昇温及び仕上げ乾燥等で大量の蒸気が必要としており、中城工場は省エネ法の第一種エネルギー指定工場になっております。そうした背景もあり、環境負荷を低減すべく設備更新を進める中、工場近隣にLNGを使った沖縄電力(株)火力発電所が建設され、LNG導管供給のお話を頂きました。

燃料転換での投資回収メリットは薄かったものの、地球温暖化に対しリーディングカンパニーとして低炭素な経営を実践したいという経営判断のもと、J-クレジット制度は、国や自治体の補助金を受けていても参加可能でしたので、ボイラーの更新に踏み切りました。

これにより、ボイラー更新と燃料転換で年間約1,800 tものCO2を削減することが出来ます。クリーニングによって製品をきれいにするだけでなく、自然環境にも配慮したクリーンな事業活動を行うことにより、同業他社との差別化を図りたいと考えております。

今回、J-クレジット制度の参加により売却益を得るだけでなく、弊社のこうした取り組みが対外的にPR出来ることを期待しております。

沖縄綿久寝具株式会社 生産部 奥原崇史

■ 方法論：EN-S-001 ボイラーの導入

